

まえがき

私は「こども」が大好きです。

町で見かけた「こども」みんなに話しかけたいぐらいの気持ちで毎日を過ごしています。

「こども」はかわいい

「こども」はみんなに愛されて当たり前

「こども」はすくすく育つ

若いころは勝手にこんな「こども」への固定観念を持っていました。

保育士をしていたときはまだこの固定観念は守られていたと思います。

でも、自分が母親になったとき見事にいろいろな側面で崩れていきました。

「こども」はかわいくないこともある

「こども」はみんなに愛されて当たり前ではないこともある

「こども」はすすすす育つとはかぎらない

私はそれを知ったとき、自分の中で危機感を覚えました。

私という同じ人間の中でも、子育てする前とした後ではこんなにも「こども」の見え方が違う……ということは、世の中は「お母さん」というものを美化しすぎているのではないかと。と。

そして、当事者のお母さんたちはその美化されてしまった「お母さん像」に近づかなければならないということが暗黙の了解になってしまっているのではないかと心配になりました。

もちろん、自分の理想とする「お母さん像」をキープしつづけることができる人は、それでいいと思います。

きっと、そんな人もたくさんいると思います。

昔の人たちはきょうだいも多い家庭に生まれ、自然と自分のきょうだいとして生まれた赤ちゃんの面倒を見る機会もありましたし、何世代かの家族がともに住んでいたことでお互いの生活を自然とフォローしあうことができていました。

でも、今の時代は核家族が多く、きょうだいの人数も少ない家庭に生まれると赤ちゃんや小さいこどもに触れる機会がほとんどないままいきなりお母さんになることもある……これって簡単なことじゃないと思います。

私自身、こどもが大好きで保育士の経験もあって、なんのためらいもなくこどもを産みましたが、それでもこどもを育てるということと自分の想いとギャップに驚きました。

もちろん、それなりの情報誌もありましたし、まったくの無知で産んだわけではありません。それでも、びつくりしました。

「早く大きくなって手が離れてほしい……」

そんなことばかり思っていたように思います。

もちろん愛情はありますし、とても大切に思っていました。

それでも、日常ではいつもそう思っていました。

大きくなったら自分でできることも増え、手がかからなくなると思っていたのです。

それぐらい自由が拘束されていました。

美容院はもちろん病院やトイレまで自由に行けないことが、こんなに不自由なことだったなんて思っています。

ゆつくりシヨッピングなんて夢のまた夢の状態です。

お母さんはこどものために尽くすもの。なんとなくの概念としてあったので、どちらかというところ「早く大きくなってほしい」と思うことは邪魔者になっているみたいで心の中に罪悪感がありました。

世間からも、よいお母さんにならなければならないという課題を与えられているような気にもなりませんでした。

私も自分なりの理想を持って子育てをしていたので、そうするのがいいと受け入れていましたが「子ども」はそんな簡単には育ってくれないし、その子によってパターンが違うのでいつも心配ばかりしていたと思います。

そんなとき、誰に相談していたか……。

軽い話ならママ友に言えましたが、本当の悩みはやっばり自分の中で消化していました。私の場合、娘の行き渡りや友達とのコミュニケーションの問題などで悩むことが多かったのですが、そのことにはできるだけ触れられないように言葉を選んで、時には笑い話のように軽い口調でママ友と話していたように思います。本当はとっても悩んでいたんですけどね。

あなたもそんな経験はありませんか？

私は少し子育てが落ち着いたとき、もう一度保育の勉強をしました。

その知識は子育て中の自分が知っていたらもっと楽だったのにと思うことばかりでした。

そして、それが専門的な勉強をしなければ得られないっておかしいなとも思いました。

専門家でもなんでもない人の大半が子育てをしているのに、学ばなければ得ることのない知識がいっぱいあるってどうしてだろう。

当たり前かもしれないですが、すぐくもつたいないなと思いました。

だから、私は今子育てしているお母さんにその知識を持ったうえで「それでいいよ。大丈夫だからね」ととても伝えたくまりました。

なぜ、大丈夫なのか？ それがわからないとちゃんと伝えられないと思い、自分自身の言葉でまとめるためにこの本を書くことにしました。

あのころの私に、そして今子育て中のあなたに。

本当は私が子育てをしていたときに知りたかった、実践したかったものばかりを集め、思い出しやすいようにできるだけキーワードを作って工夫してみました。

子育てはちよつとキーワードを知っていればこんなに楽になるんだよということを知ってもらえる内容をたくさん詰め込んでいます。

子育ての復習をしたからこそわかる本当に大切なこと。

子育ての復習をしたからこそわかる本当は知らないもの。

子育ての復習をしたからこそわかる本当のわが子の素敵なところ。

キーワードはほんの一例だと思って、どんどん自分仕様にカスタマイズしてください。
そうすることでもっとゆるく楽しく子育てに向きあえると思います。

ちよつと迷ったとき、この本を開くと「それでいいよ。大丈夫だからね」と私からのメッセージが聞こえてくるような、あなたにとってそんな本になればいいなと思います。